



御前崎港のさらなる有効活用を 御前崎港視察会を開催

県や市、牧之原市などで構成している御前崎港ポートセールス実行委員会による港視察会が5月12日、市文化会館と御前崎港コンテナターミナルで開催され、荷主企業など約200人が参加しました。御前崎港コンテナターミナルでの視察会では、ガントリークレーンを使用した荷役作業のデモンストレーションが実施され、御前崎港の有効活用について、参加者にPRしました。



未来を考える貴重なきっかけ 未来の看護師を目指して

ふれあい看護体験が5月15日、市立御前崎総合病院で開催され、市内外の高校生11人が参加しました。手術室など施設内を見学し、普段使用されている器具の説明を聞いたり、病棟で食事などの介助を体験したりして看護への理解を深めました。

看護師長の渥美由起子さんは「看護の体験をすることで、看護を身近に感じてほしい。また、これを機に興味を持ってほしい」と話しました。

熊本地震被災地へ向けて 被災地熊本県から帰任報告・派遣

熊本地震被災地を支援するため、県現地支援本部の第4陣として市から派遣されていた山下悠太さんの帰任報告と、第6陣として派遣される長島久人さんの出発式が5月16日、執り行われました。柳澤市長は山下さんを「経験を今後に生かしてほしい」とねぎらい、また、これから派遣される長島さんを激励しました。市では今後も県の要請により、職員を派遣していきます。



郷土を愛し未来を創る人づくり 第1回総合教育会議開催

第1回市総合教育会議が5月16日、市役所で開かれました。

会議では、篠田暁美教育長が今後10年間の教育の在り方を定めた市教育振興基本計画案について、市長をはじめ市執行部に説明し、了承されました。また、不登校の増加など現在、市が抱える課題が共有され、どのように取り組んでいくか活発な意見交換がされました。